

ダーナニュース

バザーのお手伝いを皆様をお願いいたします。またダーナ婦人会はAGMを11月22日にサンデーサービスのあと、お寺の中2階で行う予定です。全てのメンバーが12時15分のランチとそれに続く1時からの会議にご参加下さい。

餅つきーボランティア募集

TBCサンガは餅つきのお手伝いを募集しています。私達は毎年、参加者たちのホリデー中のボランティアの参加に大変助かっております。今年は12月28日（月）午後1時からソーシャルホールでお米を洗います。餅つきは12月29日（火）午前9時からスタートします。経験は必要ありませんのでどなたでも参加を歓迎いたします。詳しい情報はキャリー片岡（caryk@247systems.ca）又はアキ池端（aikebata@hotmail.com）までご連絡下さい。

パンケーキ朝食会—2015年12月6日（日）

TBCサンガは12月6日（日）にソーシャルホールでパンケーキ朝食会を開催します。お一人6ドルですがキッズサンガメンバーは無料です。普通のパンケーキの他にそば粉パンケーキ、ベーコン、ソーセージ、フルーツ、ジュース、コーヒーもあります。チケットはサービスの前後で販売します。

藤の友手工芸クラス 毎週（火）10:00～14:00

手工芸に興味はありませんか。経験者も初心者もどうぞご参加下さい。編み物、ペーパークラフト、カード作りなど。ランチをご持参下さい。

秋のバザー

11月14日(土) 午後12:30～4:30



☆☆ダイニングエリア&お持ち帰りコーナー☆☆

うどん、お寿司、お弁当、串焼き、天ぷら、チャーメン、
ベーキング、お饅頭などなど圧倒的な品揃えの美味しい料理



♪♪フリーマーケット♪♪

クラフト、観葉植物、リサイクル品、古本などバーゲン品の数々

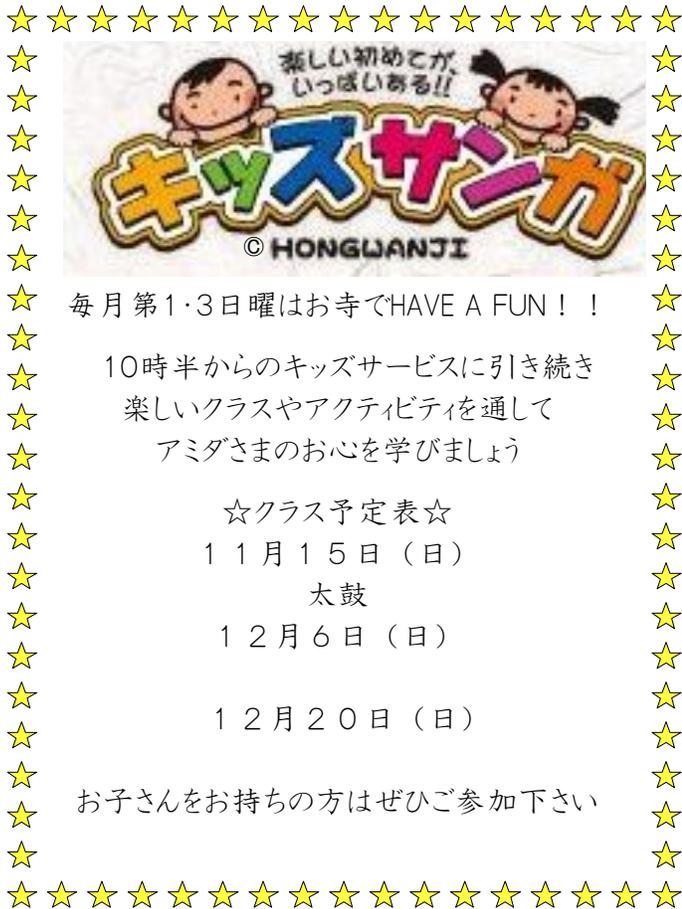


\$\$ラッフル宝くじ・サイレントオークション\$\$

1等3000ドルのラッフル宝くじ抽選会とサイレントオークションも開催

サイレントオークション・リサイクル品のドネーションをお願いします

リサイクル品テーブルへのドネーションを11月8日（日）より受け入れ開始します
ただし洋服、おもちゃ、正常に作動しないものはお断りしておりますのでご了承下さい
またサイレントオークションへご出品いただける方も募集しております



毎月第1・3日曜はお寺でHAVE A FUN!!
 10時半からのキッズサービスに引き続き
 楽しいクラスやアクティビティを通して
 アミダさまのお心を学びましょう

- ☆クラス予定表☆
- 11月15日(日)
- 太鼓
- 12月6日(日)
- 12月20日(日)

お子さんをお持ちの方はぜひご参加下さい

フルタイム総長職検討

2015年4月浄土真宗カナダ教団年次総会においてフルタイムの総長職を検討する委員会が発足しました。委員会は各お寺からの代表、ミニスターアソシエーション、教団役員会からなり、7月の会議に始まり2016年3月まで毎月話し合います。委員会は現在の状況を考えて仕事を変更する必要があるがフルタイムの総長は可能だと結論しました。委員会の今後の課題はフルタイムの総長職の追加のコストを再検討し、2016年の年次総会に向けて各お寺と話し合い最終報告を作ることです。

トロント仏教会年次総会

最近の役員会議においてトロント仏教会の年次総会は毎年11月の最後の日曜日から1月の第4日曜日に変更することになりました。よって次回の総会は**2016年1月24日**に行われます。詳しい情報は2015年12月と2016年1月のガイディングライトをご覧ください。
 トロント仏教会役員会

TBC サンガAGM

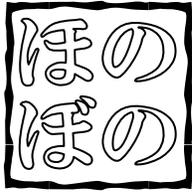
TBCサンガグループは第64回年次総会を11月22日(日)エコールームで開催します。12時15分からのランチに引き続き他のボランティアの再編についてのTBCサービスグループとの連結会議が行われます。2015年—2016年の役員選挙と各委員会による活動の再検討が議題です。全てのサンガメンバーの参加が望まれます。

永代経のご案内

11月15日(日)午前11時

「永代経」とは、永代読経の略で、永代にわたりこの先もずっとお寺でお経が読まれ、仏法が永く相続されていく事を願ってお勤めする法要です。浄土真宗においては、先に往生された方々を偲び、その方をご縁として、一人ひとりがこうして今、仏法に遇わせていただけた事を感謝する大切なお参りのひとつです。過去に永代経ご懇志をあげていただきました皆様は、ぜひご家族おそろいでお参りになって下さい。

またトロント仏教会のますますの仏法繁盛を願い、永代経に記帳をご希望の方がおられましたら、永代経当日までに、事務所までご連絡下さい。その際にはお一人づつの法名をご用意下さい。



HonoBonoMovie



11月のほのぼのクラブは映画会です。最新作ですので是非見に来て下さい。

映画 『ジュラシック・ワールド』 (日本語訳なし)
 2015年最新作 スティーブン・スピルバーグ製作総指揮
 日時 2015年 11月29日(日) 14:00
 場所 トロント仏教会
 5ドル

スティーヴン・スピルバーグが製作総指揮を務める、『ジュラシック』シリーズ第4弾となるアドベンチャー大作。恐竜をテーマにした巨大テーマパークを舞台に、遺伝子操作によって生み出された新種の恐竜が脱走、人間や恐竜を襲うさまを臨場感たっぷりに描き出す。主演は、『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』などのクリス・プラット。監督は、『彼女はパートタイムトラベラー』のコリン・トレヴォロウ。驚異的なビジュアルやハイテンションな展開のサバイバルに期待。
 シネマトウデイ

メディテーション マインドフルネス

11月5日、19日、26日
 午後7:00～9:00

講師 中野レイ

20分前にはお寺に来るようにしてください。質問はクリスティーナヤンコ先生



416-534-4302
 までお願いします。

ダルマカフェ

毎月最終日曜午前9:30
 トロント仏教会2階

仏教の知識を深めたいと思いませんか？不思議に思っているが恥ずかしくて聞けないことはありませんか？クリスティーナヤンコ先生がコーヒーを飲みながら皆さんと語り合います。もし推薦する本があったら持ってきて下さい。

無上甚深章の大意

南無阿弥陀仏の名号は、わずか六字ですから、それほどのはたらきがあるとは思えません。この六字の名号にはこの上ない深い功德や利益があり、その広大なことははかり知れません。

信心を得るといふことも、この六字にあるのであり、それ以外にあるわけではありません。

善導大師は、南無阿弥陀仏の六字を釈して、帰命と発願回向と行といふ三つのいわれを示されました。

これは、私たちのような煩惱をそなえた身であつても、阿弥陀如来如来に帰命すれば、かならずお救いくださるということを示すべられたものです。

「帰命」とは、おたすけくださいとおまかせすることであり、「発願回向」とは二心なく阿弥陀如来におまかせする衆生に、この上ない功德を与えてくださることです。

そのため、私たちがはかり知れない昔からつくり続けてきた罪のさわりはことごとく消え、浄土に生まれてさとりをひらく仲間に入ることができるのであり、そこで南無阿弥陀仏の六字は、私たちが浄土に往生するいわれをあらわしていると知ることができます。

このように信心とは、六字の名号のいわれをよく心得ることをいふのです。この六字のいわれを心得たものを他力の信心を得た人といふのです。

南無阿弥陀仏の六字には、このようなすぐれたいわれがあるのですから、疑いなく深く信じるべきです。

(五帖第十三通)

敬 弔

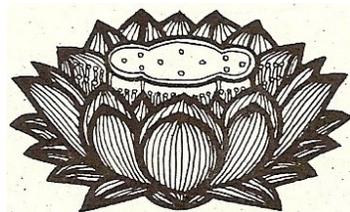
次の方々が御往生されました。生前のご苦勞を偲び、謹んで敬弔の意を表します。

藤岡 俊夫 様

九十二歳 十月十日往生

枝村 けん 様

七十九歳 十月一三日往生



年忌(年回)法要

次の年にご往生された方は年忌法要が回つてまいります。個別での法事をご希望の場合はお寺までご連絡下さい。

一周忌(二〇一四年) 三回忌(二〇一三年)

七回忌(二〇〇九年) 十三回忌(二〇〇三年)

十七回忌(一九九九年) 二十三回忌(一九九三年)

二十五回忌(一九九一年) 二十七回忌(一九八九年)

三十三回忌(一九八三年) 五十回忌(一九六六年)

3つのBブルーージェイズ、野球、仏教



このタイトル気に入った？書いてあること全部読んでくれるといいんだけど。

子供の頃、お気に入りの野球のミットを持っていない人なんていなかったでしょ。ミットのくぼみに唾を吐いてアマニ油を全体によくすりこんで（今の新しいミットは電子レンジで軟らかくしないよね）編み込みのひも、皮の匂い、握りこぶし

で何回も叩いたりしてね。報われない一時しのぎ

の墨に立っているゴロが送り出されることなんか空想してね。もし貴方が40年代50年代60年代にトロントにいたら湖畔のメープルリーフスタジアムにトロントメープルリーフを応援するため自分のミットを持って行ってフォアボールが出ないか期待してたでしょ。

日曜日ごとよく（お寺のサービスの後だと思っただけ）オネストエドの野球チームの二世ヒーローを見つけたためクリスティーピッツに向かったなあ。野球好きの生活なんて考えられなかったよな。少なくともホッケーと同じくらいにさ。

1997年ブルーージェイズが生まれたけど初日はひどかった。

公開スタジアムで始めの頃は散々な試合だったなあーと覚えているよ。けどさ、メジャーリーグの野球になったら意外に早く試合に勝ち抜くようになったんだ。

それにスカイドームで一度じゃなく二度もワールドシリーズのチャンピオンに輝いただろう。世界のチャンピオンだよ。チームはトロントだけじゃなく、カナダ中に共有され採用されてたよ。そして今、まさに22年後、最前線で戦っているよ。

仏教徒にかなり長い間愛されたブルーージェイズ野球ってなんだろう。

実のところ今の今でも、私自身2つのミットを持っていてアマニ油で丁寧に手入れしている。たとえこれから使わなくなってもさ。仏教徒として野球はたくさんのことを教えてくれるね。例えばさ、野球において時間を提示することは、打席に立っている時、イニング、試合運び中もないさ。オーバータイムなし。いくら仏教徒って言ったって日々の生活においては競争の中で常に死に物狂いで過ごしているけど仏教は時間の概念もないね。時間っていうのは本当に今、このことさ。

ヨギベラが時間について質問された時の返事をよく考えてみよう。

「いまってこと？」

またはたぶん彼の最も有名な言葉

「終わるまで終わらないよ。」

とかさ。

投手は咳払いするホームチームびいきの審判のことやつぎの契約について考えちゃいけないよ。今に集中しなくちゃ、今の投球に！

（偉大なヨギ、ヨギベラの素晴らしい考え深い、だけど素晴らしい判断力1984年スポーツイラストレイトを見よ）

仏教は煩惱に振り回されないよう導くものだよ。念仏を唱え、法とサンガに身を委ねる。

ヨギはまた「野球においては何が起ころかわかんないぞー」

とわからせてくれたね。私たちが了解していること、仏教の説くところ、人生は苦しみである。野球も苦しみでしょ。

球場の中のプレイを見て、それを見る側も楽しむ。そうだなあ。トロントの人はメープルリーフには苦しみについてか苦しい思いをさせられたよ。

この場合の苦しみて勝負に負けるってことだからもうごめんだけどね。野球はいわば苦しむゲームだよ。

なんでそう思うのかっていうと、ゆっくりなペースで試合が行われ、そしてその中のミスや失点に嬉しさと落胆が生まれるんだから。（3回の打席でヒット一回でも打てば1000万ドルも年に稼ぐって考えてもらんよ。）

真の野球ファンはもちろんお寺のメンバーは大半の人がそうだけどゲームそのものを楽しんでいるね。勝ち負けじゃないよ。子供の頃から野球好きの野球を楽しむ男の仕事でしょ。

驚くべきプレイ、繰り広げられるバレエにも似た優雅な動き、ガックリさせられる三振、皆の興奮した赤い顔、失点、どちらか勝ったなんて問題じゃないんだよ。

こういうことが22年間もスタジアムの席に座る理由だね。野球は瞑想の一種かな？ビーナッツの殻をズボンの上に散らかしまくってさ。

野球はサンガだよ。少なくとも9人のコミュニティで各々違った才能を持ち、互いに頼り合いプレイする。一人ではできないさ。原因とコンディション、一人の行動が他の人の結果に大きく影響する。犠牲的プレイだって厭わないでしょ。

野球は犠牲的運動として作られているって言っているんじゃない？犠牲的なフライ、犠牲的なバンドといった具合さ。なかなかのものだよ。

本当にいいチームっていうのは、仲間（サンガ）のために試合をするね。能力のある選手はいちいち他のメンバーの了解は求めないよ。

あのベテランのブルーージェイズ選手、ALDSの5番目ゲームの際、マウンドを下ろされてつぎのシーズンから遠のいていた時の最後の言葉、

「誰が良い思いをするか考えなくなった時、何かを成し遂げることができるとは驚きだね。南無阿弥陀仏。」

これを書いている最中もブルーージェイズはあの闘争心に満ちたカンザスシティ、ロイヤルズ1-2の4回目の試合の準備をしている。

私は恭しくお辞儀をして念仏する。行け、クロバートチーム&%^\$#!行け、ージェイズ、行け!!!（編集者へ：この記事の期限、来年末まで待ってくれる？）

佛心

二〇一五年十一月号
浄土真宗
トロント本願寺

クリスティーナヤンコ先生からのメッセージ



時に人と会話をしている、突然頭が別のことを考え始めてしまうことがあるませんか。相手の話が続いているのに

「あ、コストコで今度のフードドライブ用の食料を買っておかないと。そうだ、ついでにホームデポに行つて必要だった木材も買っておこう。あ、でも長さを計っておくのを忘れてたな。じゃ、テープに連絡して計測しておいてもらわないと」

と思いが勝手に一人歩きます。そしてその間に相手の話はどんどん進み、今何の話なのか分からなくなってしまうことがあります。ここで、今までの話を聞いていなかったことに相手が気づかなければ良いと思うわけですが、よく話をする側の立場にある人間として、やはりそこは気がつくものだと思感しています。

最近読んだあるビジネス雑誌に、この『人の話を流してしまう』という現象がすっかり現代病化しているという記事がありました。ニック・モーガンというスピーチの専門家によれば、「人々は話を聞いているかのように頷いたり、笑顔を見せたりするが、実際は（聞いていない）ものだそうです。頭では他のことを考えていたり、次になにを言うのかを考えていたりするのです。確か

に、私の法話中にも笑顔で頷いている人をよく見かけます、（苦笑）

人の話を聞くということはとても重要なライフスキルです。会話の相手が自分の話を聞いていないことに気がついた時、あなたはどのような気持ちになるでしょうか。自分が価値のない人間に思われたり、さみしい気持ちになりませんか。また、聞いていない側の人も同様に被害を受けます。きちんと話を聞いていないと大切な学びのチャンスを失ってしまいます。また、たとえ話の内容に興味を持てなかったとしても、その会話の相手との人間関係を築く機会を逃してしまいます。

私たちのお寺でも、このような「聞き流し」を見かけることがあります。例えば、『生活の信条』を読みあげるとき、機械的に口ずさんでいることはありませんか。何度も唱えた言葉なので慣れてしまい、次にくる言葉は頭で考えずとも口をつけて出てきます。しかしながら、いつもと違う翻訳だとうでしよう、急に言葉につまります。我々は自分の言葉にさえも耳を傾けていないのでしょうか。また、このような姿勢は計らずも仏教の教えに對しどのような重きをおいていることになるのでしょうか。自身の言葉にも耳を傾けないのはどのような自己評価につながるのでしょうか。

我々は凡夫です。人間ですから、常に百パーセントで話を聞くことはできません。ですが、あと少しだけ気をつけてみるはどうでしょう。相手の話をもう少し注意深く聞いてみる。自分の発する言葉に気をつけてみる。そして、仏教の教えにも耳を傾け、より深く表現できるよう努めてみるのも良いのではないのでしょうか。

合掌
（翻訳 野中彩子）